

1 実態調査の概要

本研究に関して、各学校における ICT 活用の現状と教員の意識を調査し、その結果を基に情報活用能力を身に付けさせる指導方法を明確にするとともに、授業モデルや指導事例及び校内研修の在り方などについて示すために実態調査を実施した。

(1) 内容

- ア 授業での教員の ICT の活用状況
- イ 授業での児童生徒の ICT の活用状況
- ウ 校内研修の実施状況，実践事例

(2) 対象

県内全ての公立小・中・高等学校・特別支援学校（図中では特別支援と表記する）の全教員
回答数 9,152 人

(3) 実施時期

平成 24 年 10 月

(4) 方法

アンケート形式による調査
(集計回答表をメールにより返信)

2 本県における情報教育の現状

実態調査の一部を紹介し結果と考察を述べる。

(1) 授業での教員の ICT の活用状況

問 1-1 授業で、教員（あなた）自身が ICT を活用していますか。

小学校では、「ほぼ毎日」または、「週 1 回程度」以上活用していると回答した教員が、合わせて約 6 割である。これに対し、中学校及び特別支援学校では、約 3 割、高等学校では、約 2 割と活用の割合が低くなっている。

また、週 1 回程度以上の活用は、全体を平均すると約 4 割である。

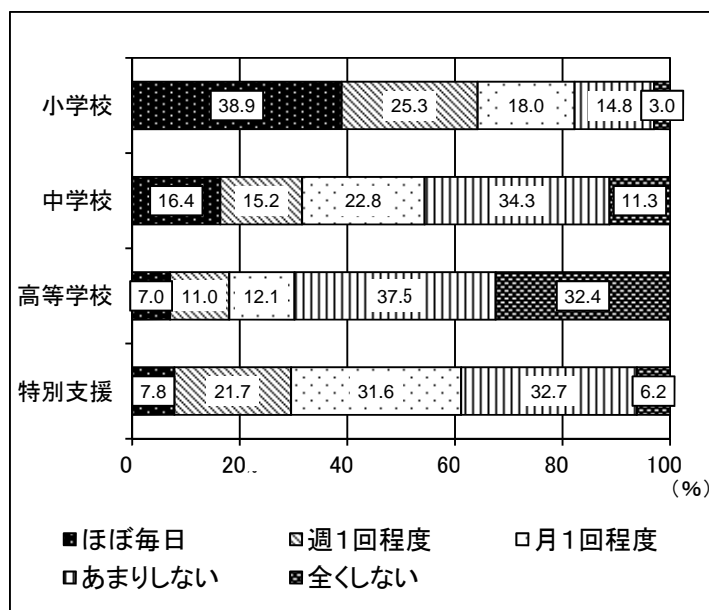


図 8 授業での教員の ICT 活用

問1-2 1日の中でどれぐらいの頻度で活用していますか。(問1-1において、活用頻度が「ほぼ毎日」と回答した教員に対する問い)

特によく活用しているのは、中学校で、「ほぼ毎時間」活用していると回答した教員が5割を超えている。

また、「1日の過半数」の授業で活用しているとの回答まで合わせると、約8割以上となる。中学校では、教科担任制で、必要に応じて繰り返し活用しているという状況が考えられる。

どの校種も ICT を使う教員は、そのよさをよく分かっており、日常的によく活用していると考えられる。

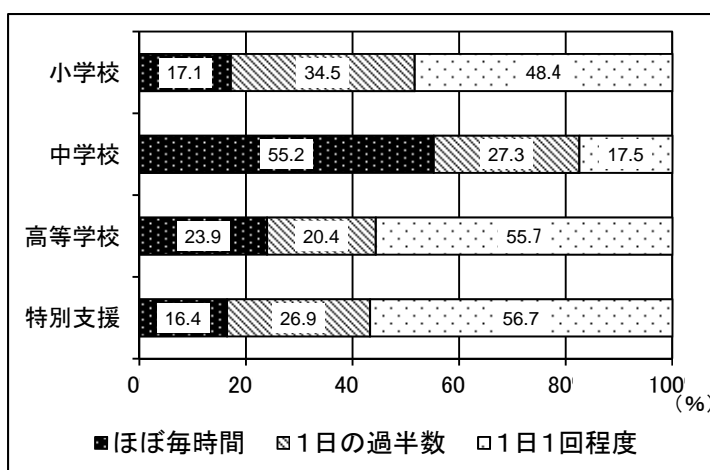


図9 授業での教員の ICT 活用頻度

問2-1 ICT を活用している理由は何ですか。(問1-1において ICT 活用頻度が「月1回程度」以上とした教員に対する問い)

全校種で「分かりやすい授業」、「児童生徒に有効」という回答が多くなっている。しかし、ICT を活用している教員の中で、児童生徒の「情報活用能力育成」を意識して、授業で活用している教員の割合は、全校種とも、他の理由に比べて極端に低い。

教員の ICT 活用は、各教科等の目標を達成するためのツールとしての活用に留まっており、情報教育の目標である情報活用の実践力など「児童生徒の情報活用能力」の育成は十分なされていない。

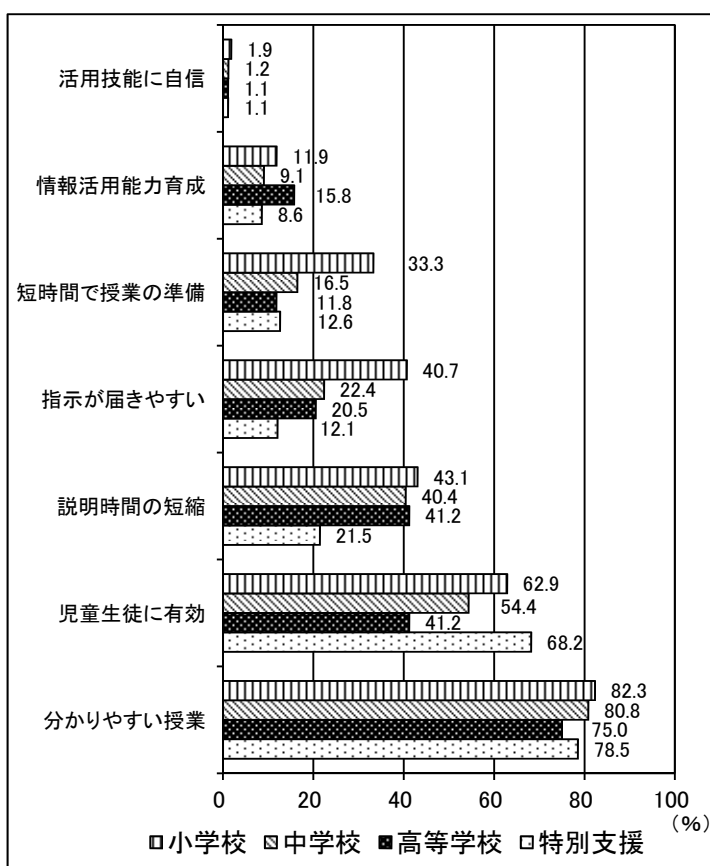


図10 教員が ICT を活用している理由

問2-2 授業での具体的な ICT 活用法はどのような方法ですか。

教科書, 資料, 児童生徒のノート, カメラ画像, 実物などを実物投影機や大型テレビと組み合わせて, 必要などを拡大して映すという活用が多い。

また, インターネット上のデジタルコンテンツや DVD, ビデオ教材, 自作のデジタルコンテンツなども比較的よく活用されている。

提示用デジタル教科書の活用は, 3割に満たない程度であった。

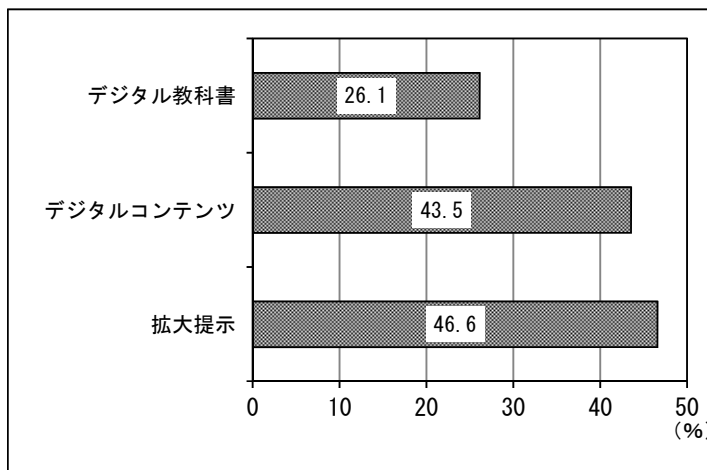


図 11 授業での具体的な ICT 活用法

問 3 ICT を活用していない理由は何ですか。(問 1-1 において授業で ICT 活用を「あまりしない」、「全くしない」と回答した教員に対する問い)

「ICT なしで授業可」, 「ICT 環境が整わず」という理由が, 小・中・高等学校の合計で約 3~4 割となっている。ICT のない, 現状の授業スタイルで十分と考えている教員が多いという一方で, 「ICT 活用は効果がない」という理由を挙げている教員は少ない。ICT 活用のよさについての理解は進みつつあると思われる。

また, 授業で「すぐ使える教材・素材なし」, 「ICT 活用の仕方分からず」との回答が, それぞれ約 2 割あり, デジカメの利用等の授業における ICT の有効な活用が分からない教員も比較的多いことが分かった。

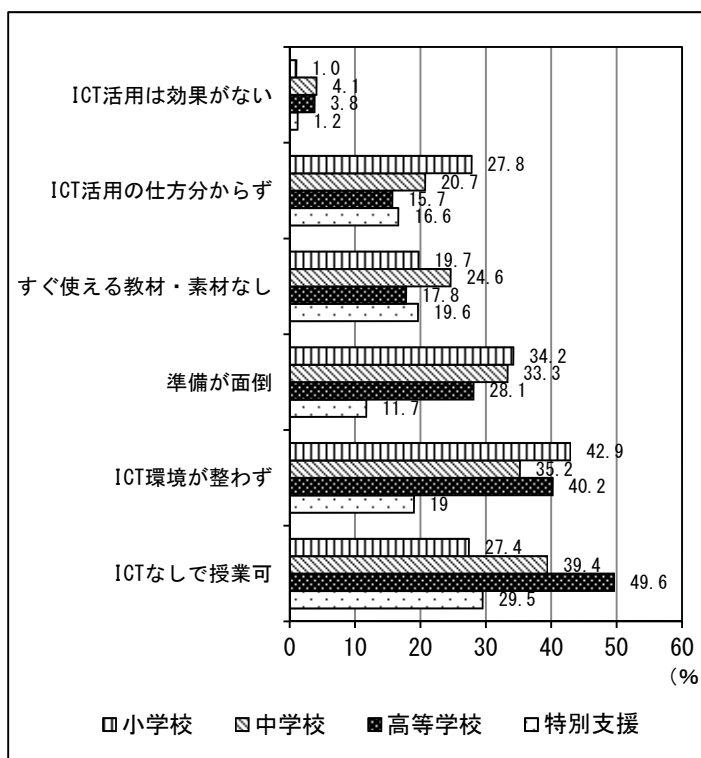


図 12 教員が ICT を活用していない理由

(2) 授業での児童生徒の ICT の活用状況

問4 授業で、児童生徒に ICT を活用させていますか。

児童生徒の ICT 活用において、「よく活用させている」、「活用させている」と回答した教員は、小学校では約5割あるが、その他の校種では、3割にも満たない。

この結果から、全校種で児童生徒の ICT 活用はまだ十分とは言えないことが分かった。

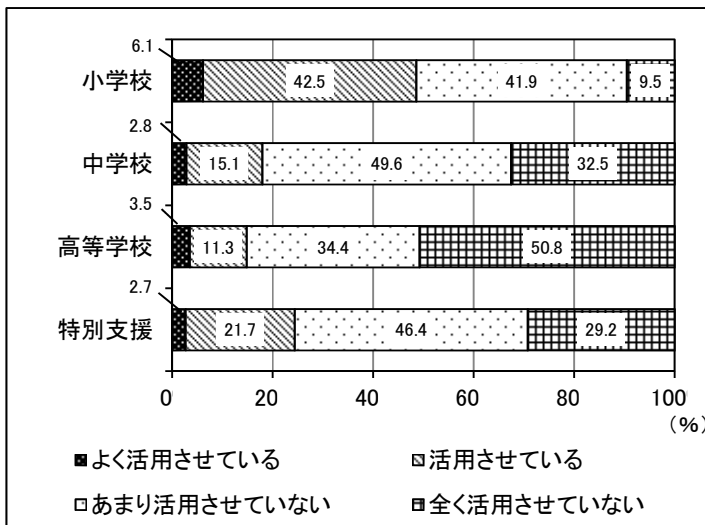


図13 授業での児童生徒の ICT 活用状況

問5-1 児童生徒に ICT を活用させている理由は何ですか。(問4において、児童生徒に ICT を「よく活用させている」、「活用させている」と回答した教員に対する問い)

「情報入手」に便利であるという回答が多い。

また、児童生徒の「情報活用能力育成」という理由で ICT を活用させている教員の割合は、約4割あり、高等学校では5割を超えている。

問2-1で教員が ICT を活用する場合、児童生徒の情報活用能力の育成を意識していた教員は約1割程度であったことからすると、児童生徒に ICT を活用させることが、教員が情報活用能力の育成を意識することになり、効果的な ICT 活用につながると考えられる。

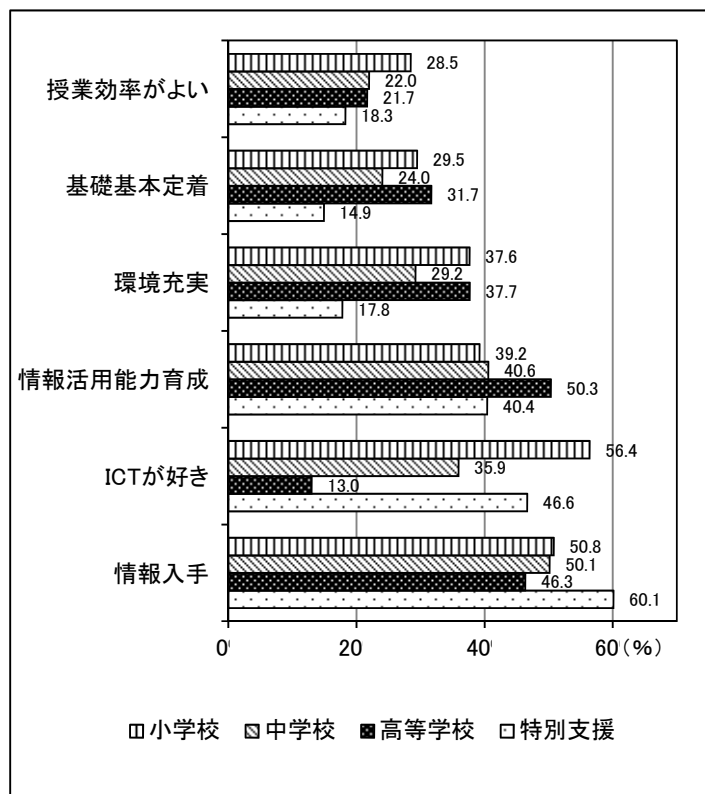


図14 児童生徒に ICT を活用させている理由

問5-2 授業での具体的なICTの活用方法はどのような方法ですか。(問4において、児童生徒にICTを「よく活用させている」、「活用させている」と回答した教員に対する問い)

児童生徒のICTの活用方法は、「インターネットで情報収集」し、調べさせるという活用が一番多く、全校種合計で、約7割以上であった。

「文書作成・まとめ」や「作成した文章等提示・発表」の場面での活用は、全校種とも割合が少ない。

児童生徒の情報活用能力の育成のためには、情報収集や選択の場面だけでなく、「文章作成・まとめ」や「発表」の場面などでも、バランスよく、積極的に活用させていく必要がある。

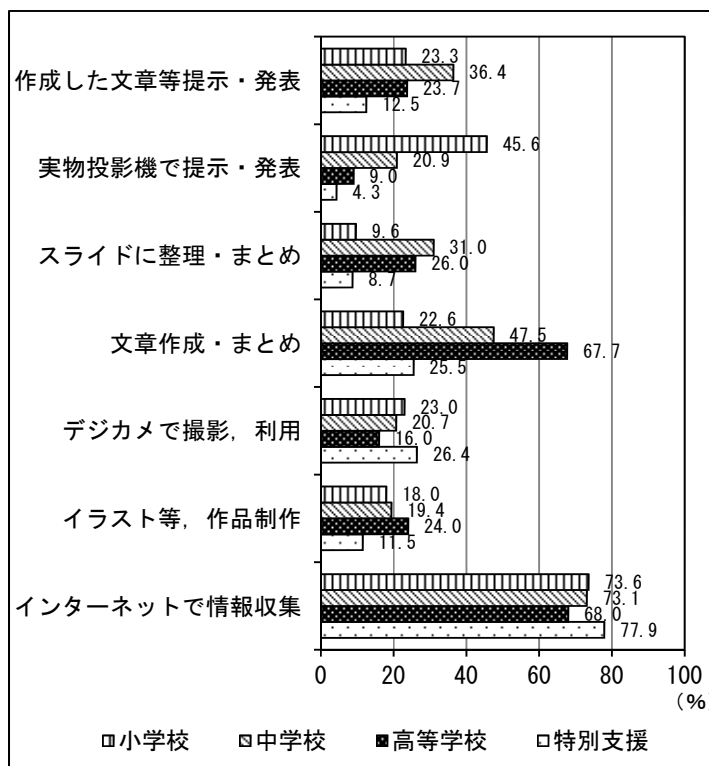


図15 授業での児童生徒のICT活用方法

問6 児童生徒にICTを活用させていない理由は何ですか。(問4において、児童生徒にICTを「あまり活用させていない」、「全く活用させていない」と回答した教員に対する問い)

ICTを活用させていない理由として「ICTなしで授業可」という考えや、「ICT環境が整わず」活用しないという意見が見られる。

一方で、「すぐ使える教材・素材なし」、教員が「ICT活用の仕方が分からず」との回答も比較的多い。

児童生徒のICT活用による情報活用能力の育成に向けては、教員のICT活用指導力*の向上を図っていく必要がある。

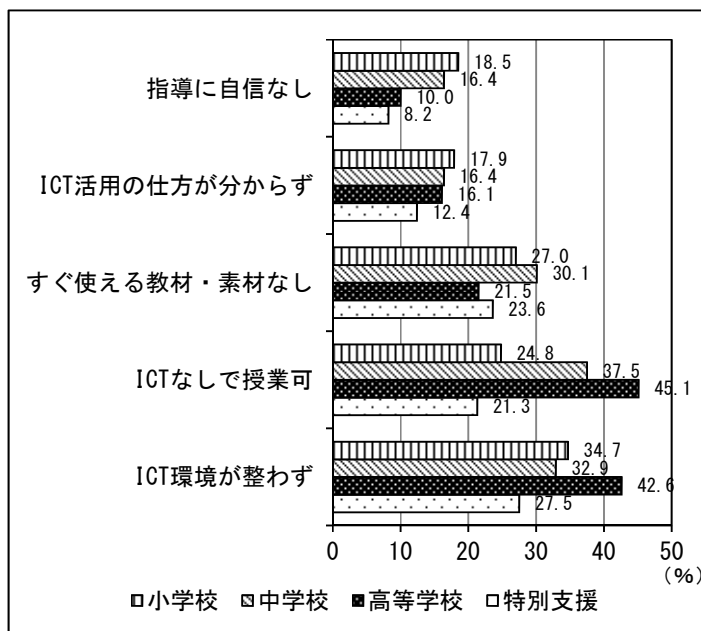


図16 児童生徒にICTを活用させていない理由

*教員のICT活用指導力とは(文部科学省「教員のICT活用指導力チェックリスト」より)以下A~Eの5項目である。

- A 教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力
- B 授業中にICTを活用して指導する能力
- C 児童生徒のICT活用を指導する能力
- D 情報モラルなどを指導する能力
- E 校務にICTを活用する能力

3 調査結果による本県における情報教育の課題

- ICT を活用している教員の中で、児童生徒の情報活用能力の育成を意識して活用している割合は約1割である。一方、児童生徒にICTをよく活用させている教員の中で、児童生徒に情報活用能力を身に付けさせたいと意識し活用している割合は約4～5割である。しかし、児童生徒のICT活用は、小学校では活用が約5割であり、その他の校種では、3割にも満たず、まだ十分とはいえない。したがって、児童生徒自身にICTを活用させることが、情報活用能力の育成に有効であるという教員の意識を高める必要がある。
- 教員の中には、ICTを使わなくても授業ができるという考えや、環境が整っていないから活用しないという意見がみられる一方で、ICTの活用は授業に有効だと認識している意見もみられる。
また、教材や素材の検索方法が分からない、ICTの活用の仕方が分からないと思っている教員も多いことから、教員のICT活用指導力の向上と効果的なICT活用についての支援を更に行っていく必要がある。
- 児童生徒のICT活用は情報の収集・判断場面での活用が多い。情報を処理したり、表現・創造したりする場面、さらに、それを基にして、発信・伝達するような場面での活用も取り入れ、バランスのよいICT活用を推進していく必要がある。